

議会活動に対する「声」～アンケート自由記載より～

多くのご意見をいただいた中から、議会活動に関する内容について紹介します。

- 少子高齢化で人口が減る中、住みやすく自慢のできる町を、町と議会と協力してほしい。
(50歳～59歳 男性)
- 新十津川の町が今日の良き町になったのは、苦労を重ね村民の声を代弁しながら今の町ができていると思う。もうすこし初心にもどり、町内の声を見て聞いて活動した方が良い。
(70歳～79歳 男性)
- 町議会には関心があり、特に子育てに関する分野については積極的に参加したいという気持ちはあるのですが、日程や時間の都合が合わず、自分の意見や要望を伝えられるせっかくの機会があってもなかなか参加できず残念です。今後のよりよいまちづくりのため、議会だより等にはしっかり目を通し、可能な限り参加できるものには参加していきたいと思っております。
(40歳～49歳 性別不明)
- “新十津川に住めば子供をもっても住みやすいよ”って若年層の人にも理解してもらえるような場所として、ミーティング会やサロンが活用できて良いと思います。せっかく議会側が努力していてもそれに参加する人が限られてはいませんか？学校なら保護者会があったり、活動組織（女性部だったり青年部だったり）団体単位に呼びかけてみていいのではないかと思います。それが今後のなり手対策に結びつくのではないかと思います。
(50歳～59歳 女性)
- 町議会について、あまり知らない若者世代が多いと思います。
(30歳～39歳 女性)
- 身近に議員さんの活動を見ていない方々には、なかなかどういうお仕事なのか興味を持ってもらうのは大変ですよ。私も大人になって、親になって生活してみて、町の制度や行事に関心を持つようになりました。新十津川は住みやすく、子育てもしやすいと思うので、もっとアピールできる所を発信して若い世代も盛り上げていけるといいなと思いました！
(30歳～39歳 女性)
- 効果を求めるのであれば、町内の業種毎に、農業者、商工業、建設業者と言うように、業種の個別の問題点と将来の展望について、時間をかけてコミュニケーションを図ることだと思うが！
(70歳～79歳 男性)
- 若い方が町議に立候補できやすくなるよう、何か考えてほしい。
(40歳～49歳 男性)
- 一般質問を中心に議会傍聴していますが、いつも感じるのですが、再々質問くらいで終わっており、もう少し突っ込んだ討論にならないのか歯がゆい思いが残ります。
(80歳以上 男性)
- ナイター議会は良かったと思う。年に2回でも良いと思う。新十津川議会は他の町より進んでいる所も沢山あります。議員の皆さんの更なる活躍を期待しています。
(70歳～79歳 性別不明)

考察

住民と意見交換する機会と 情報発信の強化！

アンケートの結果から、議会活動の現状と課題を認識することができました。

まず、切実に感じたのは、議会と住民の距離が遠く、活動の内容が住民にしっかり届いていないというところ。このことが議会への関心度につながると感じます。「議会は何をしているのか」「議員と直接話す機会に参加する必要性を感じない」というご意見もあり、議会の情報を細かく分かりやすく、多くの方に届く取組が重要であると感じました。

一方、議会に関心はあるが、毎日のお仕事や家事などから、議会の活動に参加できないという意見もありました。今後はインターネット等も活用しながら多くの世代に対し、多様化するライフスタイルにおいても議会の情報が届く仕組の構築が必要と感じます。

新型コロナウイルス禍において、これまで実施してきた「くるま座ミーティング」「かたるべサロン」などの開催方法を再検討すると同時に、オンラインを活用した情報交換や勉強会など、住民と議会が多くのご意見を共有する仕組も早急に検討しなければならぬと考えます。

現在、議会では、議会運営委員会が中心となり、これからの議会活動を協議しています。この度のアンケート結果をしっかりと把握、認識し、今後の協議と議会のあるべき姿への取組にしっかりと反映させていきたいと思っております。

大変お忙しい中、アンケートにご協力いただきました皆様、この場を借りて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。